

KENWOOD

CD チューナーアンブ

A-K805

取扱説明書 保証書付

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと本書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

- 目次は3 ページにあります。

株式会社 JVCケンウッド

JVCKENWOOD Corporation

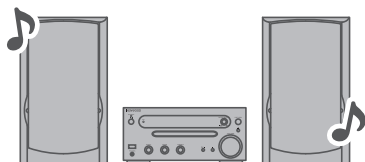


はじめに

各機器の音声を楽しむには

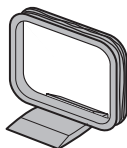
まず、音声を聞く前に準備する

スピーカーと接続しましょう (p. 8)

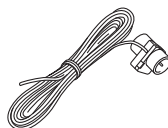


ラジオを聞きたい方は、アンテナを接続しましょう

AM アンテナを接続する (p. 9)



FM アンテナを接続する (p. 10)



お知らせ

- AM アンテナと FM アンテナは付属されています。

各機器の音声を聞く

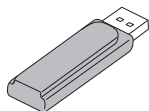
iPod/iPhone (p. 16)



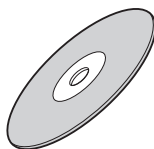
デジタルオーディオ
プレーヤー (p. 32)



USB メモリー (p. 18)



CD (p. 22)



テレビ (p. 32)



ラジオ (p. 28)



もくじ

はじめに	2	FM/AM ラジオを聞く	28
各機器の音声を楽しむには	2	放送局を受信する	28
本機を設置するときは	5	放送局を記憶させる(プリセット)	29
準備する	6	記憶した放送局を呼び出す	31
付属品を確認する	6	記憶させた放送局を消去する	31
リモコンを準備する	6	外部機器を聞く	32
接続する	8	外部機器を接続する	32
スピーカーを接続する	8	再生する	33
AM アンテナを接続する	9	音質を設定する	34
FM アンテナを接続する	10	お好みの音質に設定する	34
他の機器(市販品)を接続する	11	重低音を強める(EX.BASS)	34
各部のなまえ	12	音質設定をリセットする	34
本体前面	12	再生音質を高める(K2 機能)	35
表示部	13	スピーカーの左右の音量バランスを調整する	35
リモコン	14	タイマーを使う	36
ふだんの使いかた	15	スリープタイマーを設定する	36
電源を入れる / 切る	15	その他の設定	37
音源を選んで聞く	15	表示される情報を変える	37
一時的に消音する	15	表示の明るさを変える	37
iPod/ iPhone を聞く	16	オートパワーセーブ(節電機能)を使う	38
iPod/ iPhone を接続する	16	その他	40
再生する	16	再生できる iPod	40
iPod/ iPhone のメニューを操作する	17	再生できる CD とファイル	40
USB 機器を聞く	18	CD-R/CD-RW のご注意	41
USB 機器を接続する	18	USB 機器のご注意	41
チャージモードで機器を充電する	18	オーディオファイルのご注意	42
再生する	19	商標	43
CD を聞く	22	故障かな?と思ったら	44
CD を入れる	22	主な仕様	47
再生する	23	保証とアフターサービス	50
プログラム再生をする	26	無料修理規定	51

はじめに

オートパワーセーブ(節電機能)について

- ・本機には、消音状態などが15分間続くと自動で電源が切れる「オートパワーセーブ」があり、お買い上げ時には有効になっています。(p. 38)

本書の見かた

- ・本書では、主にリモコンのボタンを使って説明しています。本体にも同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- ・この取扱説明書のディスプレイ表示は実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

本書の表記について

- ・本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPod、iPod touch、iPhone を含みます。iPod touch、iPhone を指すときは、「iPod touch」、「iPhone」と表記します。
- ・本書ではオーディオファイル(MP3/WMA/AAC)の説明をする場合、「ファイル」と「曲」は同じ意味で使っています。

本機のボタンの押し方について

本機のボタンの押し方には、ボタンを短めに押す「単押し」と、長めに押す「長押し」があります。

単押し:(長押し)の記載なし

ボタンを軽く短めに「ポン」と押して、早めに指を離してください。強く押し過ぎたり、ゆっくり押すと本機が反応しない場合があります。そのような場合は、押す時間や力を調節して数回試してみてください。



長押し:(長押し)の記載あり



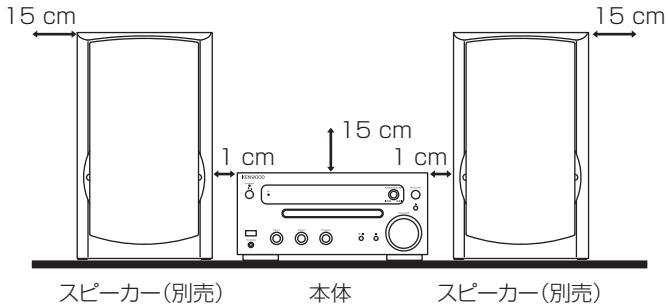
ボタンを長めに押し続けてから、指を離してください。

本機を設置するときは

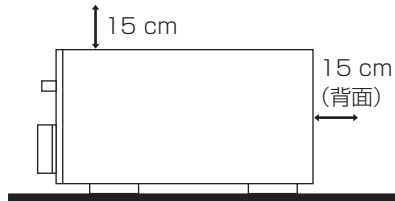
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 機器の各面から、図に示すスペースを空けてください。

正面



側面



ご注意

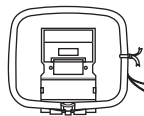
- 本機の使用環境温度は、5℃～35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

準備する

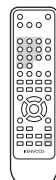
付属品を確認する

お使いになる前にお確かめください。

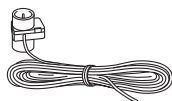
AMループアンテナ (1個)



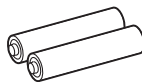
リモコン(1個)
RC-A0801



FM簡易型アンテナ(1本)



リモコン用乾電池(単4形:2本)

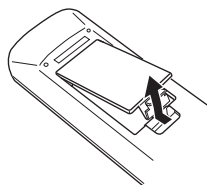


リモコンを準備する

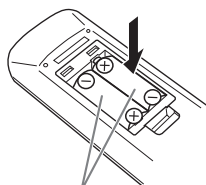
電池を入れる

電池の+と-の向きを正しく入れてください。

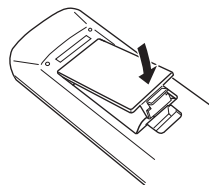
1



2



3

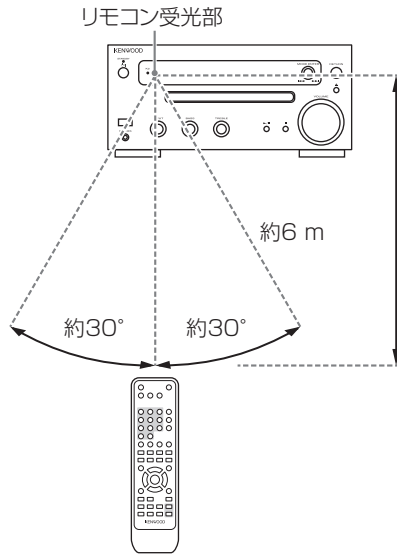


単4形乾電池(付属品)

ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、所在自治体の指示に従って廃棄してください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

操作のしかた



- 本体のリモコン受光部に、直射日光などの強い光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために、設置場所を変えてください。

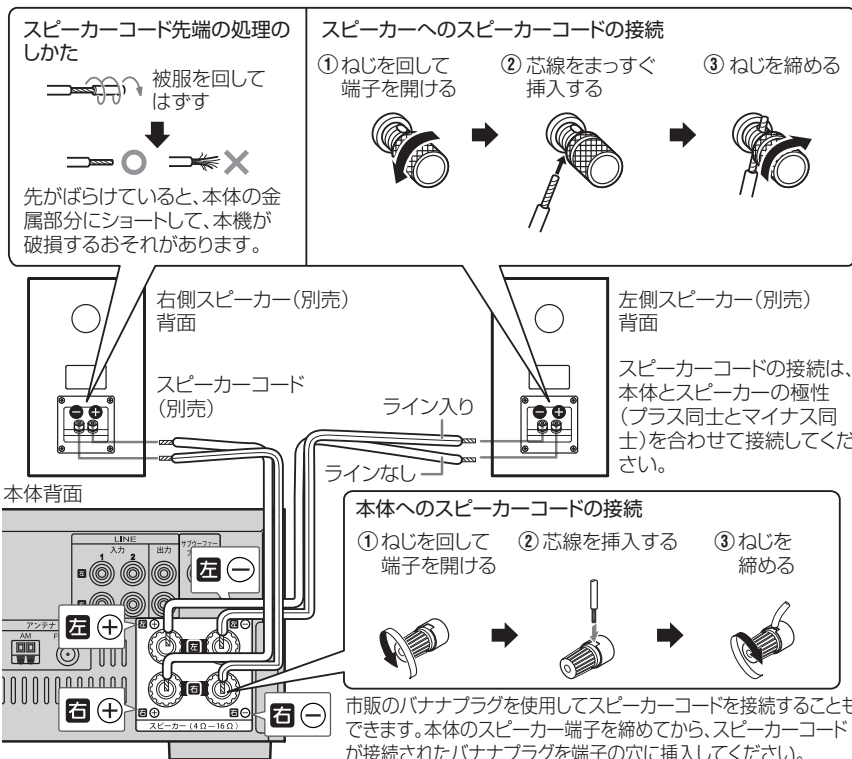
接続する

ご注意

- すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

スピーカーを接続する

- イラストは接続の一例です。イラスト以外のスピーカー端子やスピーカーコードでも接続できます。



お知らせ

- 推奨品(LS-K901)以外の一般的なスピーカーも使用できます。スピーカーインピーダンスが4Ωから16Ωのスピーカーをお使いください。

スピーカーの接続についてのご注意

- 1つの端子に2つ以上のスピーカーを接続しないでください。
- スピーカーコードを強く押し込みすぎて、ビニールの被覆を端子の中に入れてないようにしてください。
- スピーカーコードの接続を間違えると、故障の原因となりますので、図のとおり正しく接続してください。

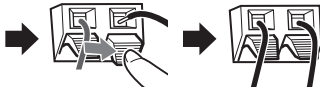
AM アンテナを接続する

アンテナ線の挿入のしかた

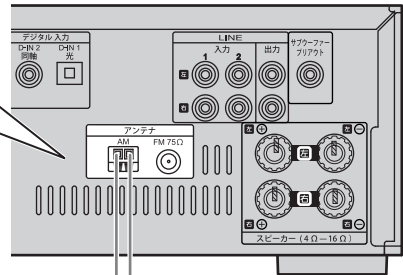
- ① 強く押す ② 芯線を挿入する ③ 離す



- ④ もう片方も同様に挿入する

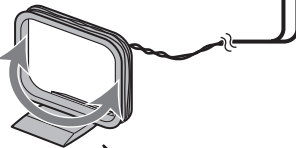


本体背面

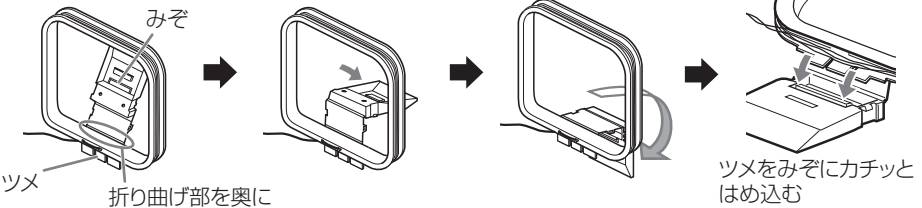


AMループアンテナ(付属品)

接続したAMループアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます。



組み立てかた



AM ループアンテナについてのご注意

- ラジオを聞く前に必ずアンテナを接続してください。
- AM ループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。
- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。
- アンテナは、一般に窓の近くに設置するほうが良好に受信できます。

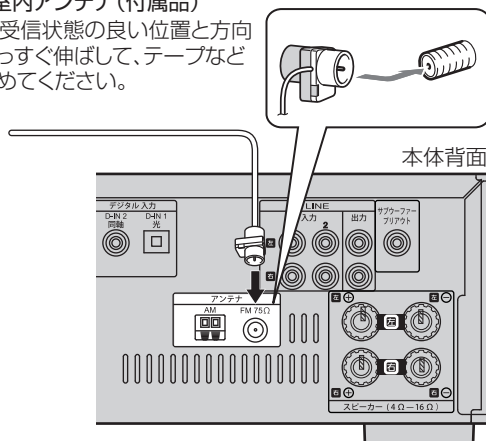
接続する

FM アンテナを接続する

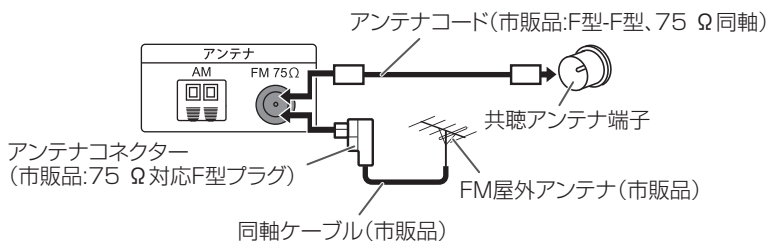
FM アンテナの接続

FM室内アンテナ(付属品)

最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばして、テープなどでとめてください。



マンションなどの壁の共聴アンテナ端子または FM 屋外アンテナを使うとき



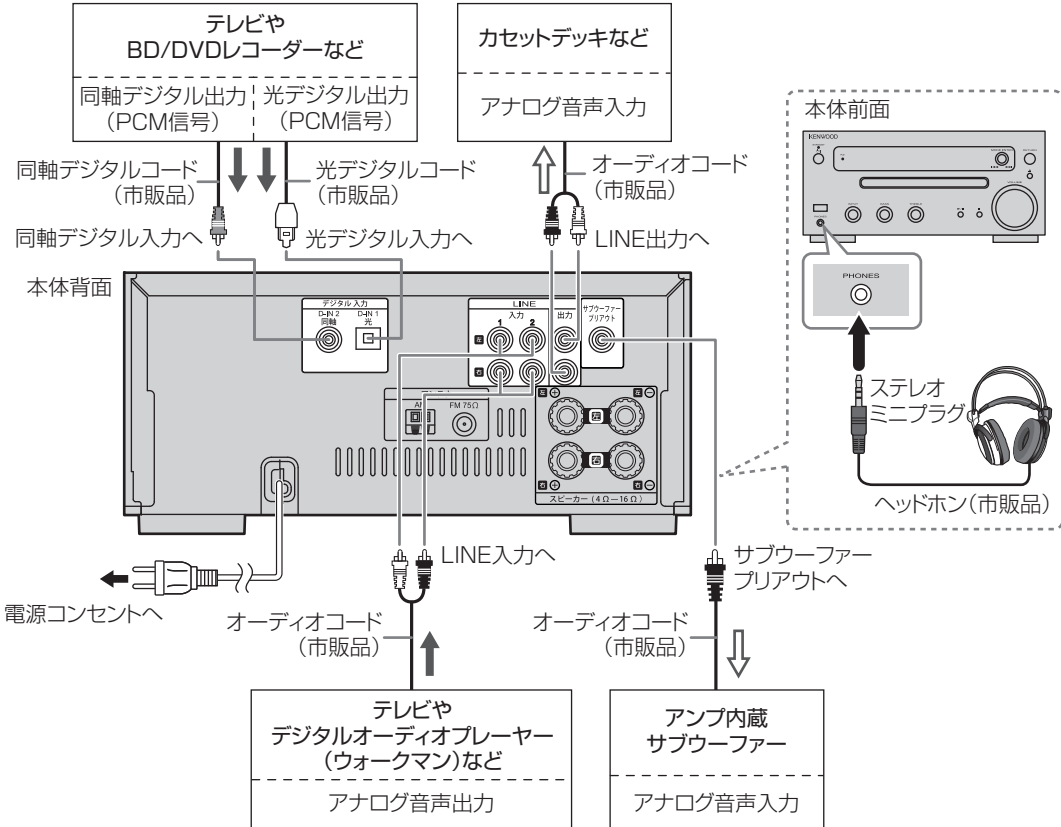
- 付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書を参照してください。
- アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行ってください。

ご注意

- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。
- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。
- ケーブルテレビ会社と契約しているマンションの共聴アンテナ端子に本機の FM 端子を接続している場合は、FM 放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

他の機器(市販品)を接続する

接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。



お知らせ

- お使いの外部機器の取扱説明書をご覧ください。
- デジタル入力端子を接続した場合は、テレビやBDレコーダーなどの接続機器側のデジタル音声出力設定を「PCM」にしてください。

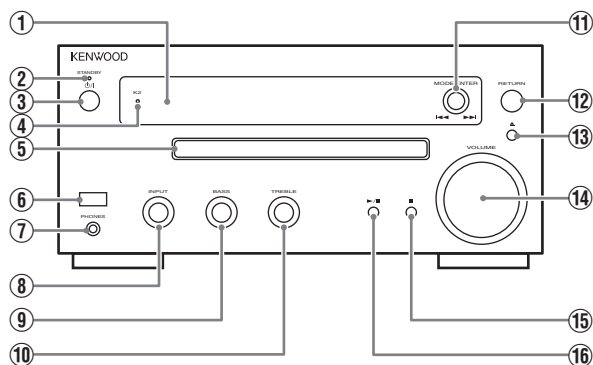
電源コードについてのご注意

- 出かけるときや長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

各部のなまえ

本体前面

- 参照ページは主な紹介ページを記載しています。



① リモコン受光部

(p. 7)

② STANDBY インジケータ

本機の電源が切れているときは赤色に点灯します。電源が入っているときは消灯します。

③ 〇/I(電源)

(p. 15)

④ K2 インジケータ

(p. 35)

⑤ CD トレイ

(p. 22)

⑥ USB 端子

(p. 16, 18)

⑦ PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

⑧ INPUT

(p. 15, 16, 19, 23, 28, 33)

⑨ BASS

(p. 34)

⑩ TREBLE

(p. 34)

⑪ MODE/ENTER



(p. 17, 19, 21, 25, 26, 29, 31, 38)

⑫ RETURN

(p. 17)

⑬ ▲(CD トレイ開閉)

(p. 22)

⑭ VOLUME

(p. 15)

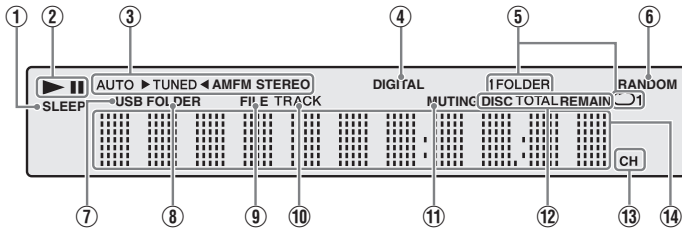
⑮ ■(停止)

⑯ ▶/|| (再生/一時停止)

お知らせ

- 電源が切れているとき(スタンバイ状態)にも、少量の電力を消費します。

表示部



① SLEEP アイコン

(p. 36)

② 再生状態アイコン

▶(再生)アイコン

|| (一時停止)アイコン

③ ラジオ放送受信表示

AUTO アイコン

ラジオのオート選局時に点灯します。マニュアル選局時は消灯します。

TUNED アイコン

放送局を受信すると点灯します。

AM FM アイコン

AM または FM 放送時点灯します。

STEREO アイコン

FM ステレオ放送を受信すると点灯します。

④ DIGITAL アイコン

音源が「D-IN」で、デジタル信号が入力されている時に点灯します。デジタル信号が入力されていない時は点滅します。

⑤ リpeatモードアイコン

(p. 21、25)

1 FOLDER アイコン

フォルダのリpeat再生中に表示します。

⑥ RANDOM アイコン

(p. 20、24)

⑦ USB アイコン

USB 接続中に点灯します。

⑧ FOLDER アイコン

オーディオファイルのフォルダを表示しているときに点灯します。

⑨ FILE アイコン

オーディオファイルを表示しているときに点灯します。

⑩ TRACK アイコン

トラックを表示しているときに点灯します。

⑪ MUTING アイコン

(p. 15)

⑫ 表示切り換えアイコン

DISC アイコン

ディスク再生停止中、ディスク全体の経過時間を表示しているときに点灯します。

TOTAL アイコン

ディスク再生停止中、ディスク全体の経過時間を表示しているときに点灯します。

ディスク再生中、全体の残量時間を表示しているときに点灯します。

REMAIN アイコン

ディスク再生中、曲の残量時間を表示しているときに点灯します。ディスク全体の残量時間を表示しているときは **TOTAL** アイコンと **REMAIN** アイコンが点灯します。

⑬ CH アイコン

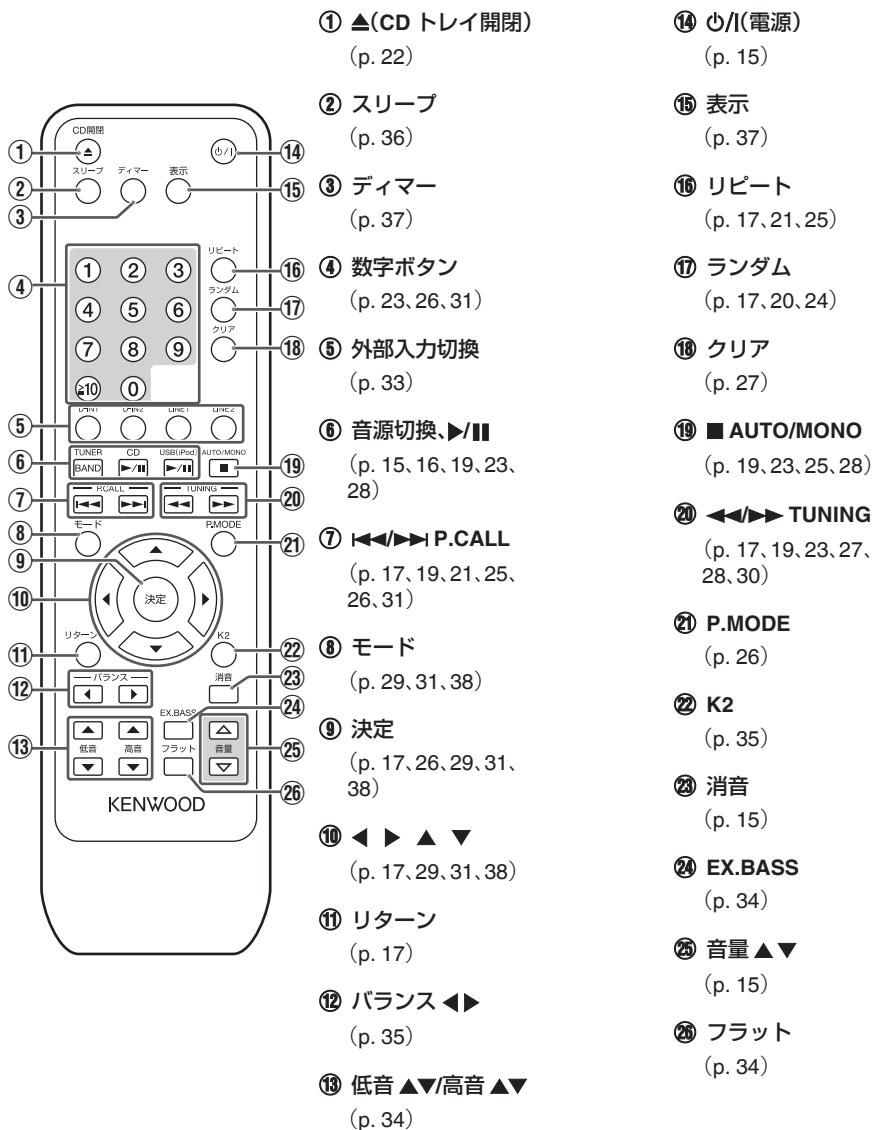
AM または FM 放送局のプリセット番号を表示しているときに点灯します。

⑭ テキスト表示

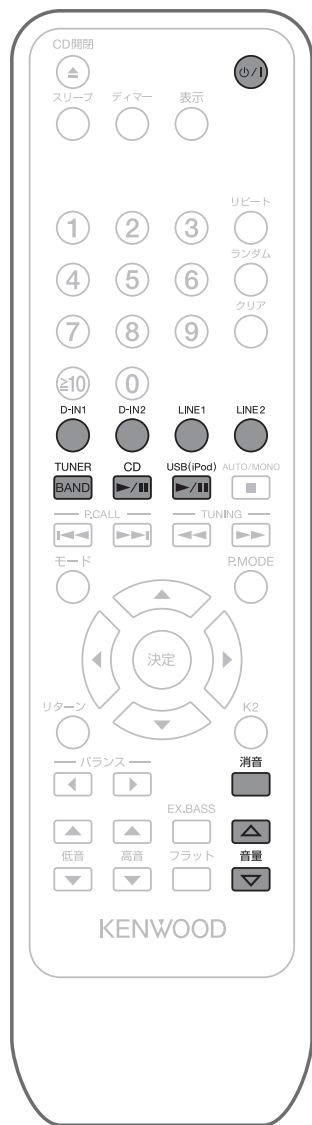
各音源の情報を表示します。

各部のなまえ

リモコン



ふだんの使いかた



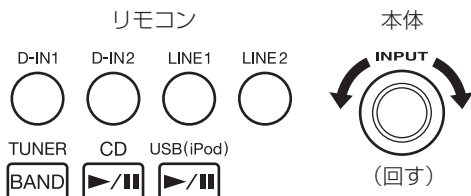
電源を入れる / 切る



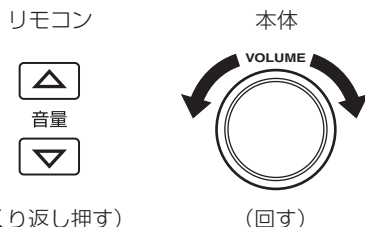
- リモコンの[CD▶/1]などの各音源ボタンを押して電源を入れることもできます。

音源を選んで聞く

1 音源を選ぶ

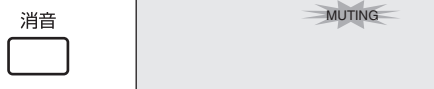


2 音量を調節する



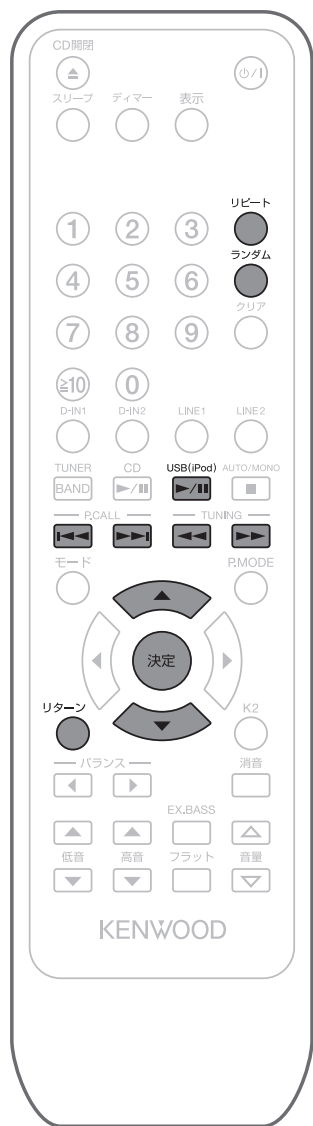
- (くり返し押す)
- 調節範囲: 0 ~ 50(Max)
- 押しつづけると、連続して変わります。

一時的に消音する



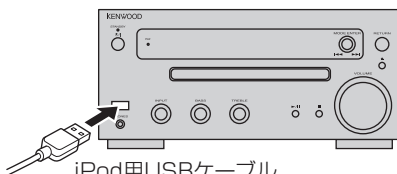
- もう1度押すか、音量を調節すると、消音が解除されます。

iPod/ iPhone を聞く



iPod/ iPhone を接続する

iPod を本機の USB 端子に接続して、本機から操作して再生できます。



iPod用USBケーブル
(iPodに付属または市販品)

ご注意

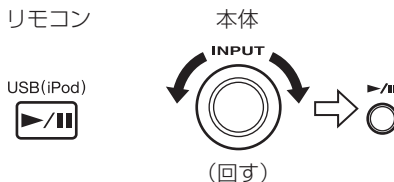
- iPod は、電源が切れた状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルや iPod のファイルシステムが破損する恐れがあります。
- 本機から iPod に録音することはできません。

お知らせ

- iPod は以下のときに充電されます。
 - 音源にかかわらず本機の電源が入っているとき。USB 端子に接続すると充電されます。
 - 本機のチャージモード(p. 18)をオンに設定し、電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)。USB 端子に接続すると充電されます。
- 以下の iPod/iPhone は、本機の電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)に接続しても充電できません。(p. 45)
 - iPod nano(第2世代)、iPod touch(第1世代/第2世代/第3世代/第4世代)、iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G
- iPod/iPhone の充電池またはバッテリーが完全に消耗している場合、充電機能が働かないことがあります。その場合は、一度本機の電源を入れなおしてください。

再生する

再生する



- 本体側で操作するときは、iPod の認識が終わった後、▶/||を押しください。iPod の再生が始まります。

一時停止する



- もう1度押すと、一時停止を解除します。

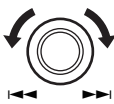
曲を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(回す)

- 次の曲に移動するには、[▶▶] を押します。
- 再生している曲の最初に移動するには、[◀◀] を押します。続けて2回押すと、前の曲に移動します。

早戻し/早送りする

再生中に



(長押し)

- 早戻しするには、[◀◀] を押し続けます。
- 早送りするには、[▶▶] を押し続けます。

シャッフル再生をする

ランダム



- 押すたびに iPod のシャッフル再生モードが切り換わります。

リピート再生をする

リピート



- 押すたびに iPod のリピート再生モードが切り換わります。

iPod/ iPhone のメニューを操作する

1 メニューを表示する

リターン



2 項目を選ぶ



(くり返し押す)

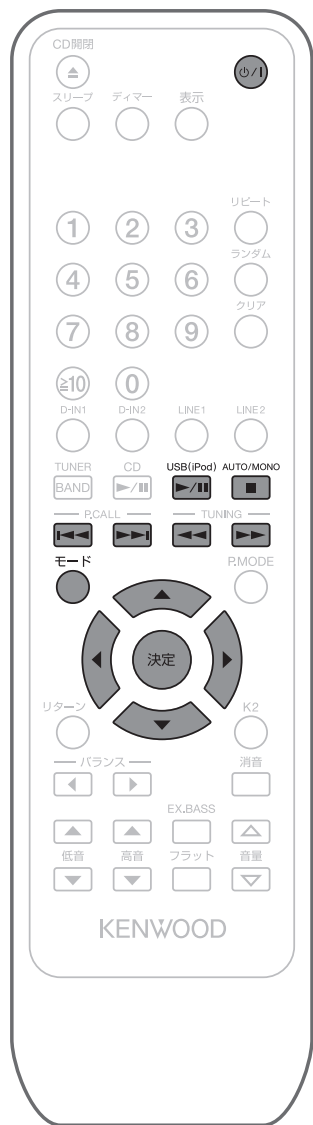
前のメニューに戻る

- [リターン]を押す。

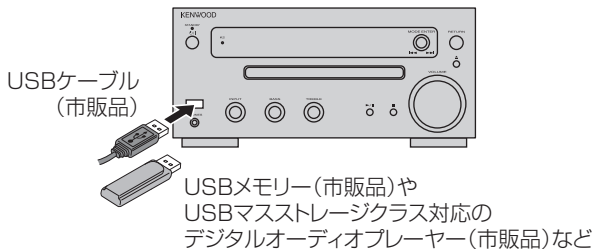
お知らせ

- iPod の種類により、動作が異なることがあります。
- iPod のイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。
- 一部の iPod では、メニュー画面の操作を行うときは、iPod で操作してください。
- iPhone または iPod touch の接続中に次の操作を行うときは、iPhone や iPod touch で操作します。
 - ホームボタンを押す
 - ホーム画面でアプリケーションアイコンを選ぶ
 - スライダーをドラッグする
- iPod の操作については、iPod の取扱説明書をご覧ください。

USB 機器を聞く



USB 機器を接続する



ご注意

- USB 機器は、停止状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルや USB 機器のファイルシステムが破損する恐れがあります。
- ソニー製ウォークマンなど、独自のソフトウェアで音楽ファイルを管理しているオーディオプレーヤーを、本機の USB 端子に接続して使用することはできません。
LINE 入力端子にステレオミニプラグーピンプラグ接続コードなどで接続して、再生してください。(p. 32)

お知らせ

- USB 機器は以下のときに充電されます。
- 音源にかかわらず本機の電源が入っているとき。USB 端子に接続すると充電されます。
- 本機のチャージモード(下記)をオンに設定し、電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)。USB 端子に接続すると充電されます。

チャージモードで機器を充電する

本機の電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)に iPod や USB 機器への充電をするかしないかを設定します。設定は本機の電源が入っている状態で行なってください。

1 設定メニューを表示する

リモコン

モード



本体

MODE / ENTER

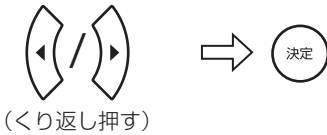


(長押し)

2 「Charge Mode」を選ぶ



3 「On」または「Off」を選ぶ



- 「On」(初期設定): iPod または USB 機器を接続すると充電を開始します。
- 「Off」: iPod または USB 機器を接続しても充電されません。

4 電源を切る(スタンバイ状態にする)

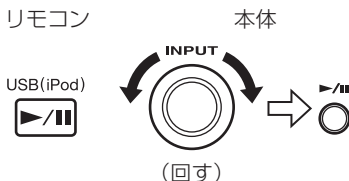
5 iPod または USB 機器を接続する

表示部に「Charging」と表示され、充電が開始されます。

- チャージモードをオンに設定している場合、電源が切れているとき(スタンバイ状態)の消費電力が増加します。
- 充電中に iPod または USB 機器を取りはずすと、電源が切(スタンバイ状態)になります。

再生する

再生する



- 本体側で操作するときには、USB 機器の認識が終わった後、▶/|| を押してください。

お知らせ

- USB 機器のプログラム再生機能はありません。
- 本機から USB 機器に録音することはできません。

停止する



- オーディオファイルの場合、停止後に再度再生すると、再生していた曲の先頭から再開します(リジューム機能)。停止中にもう 1 度 [■] を押すと、リジューム機能は解除されます。

一時停止する



- もう 1 度押すと、一時停止を解除します。

曲を選ぶ

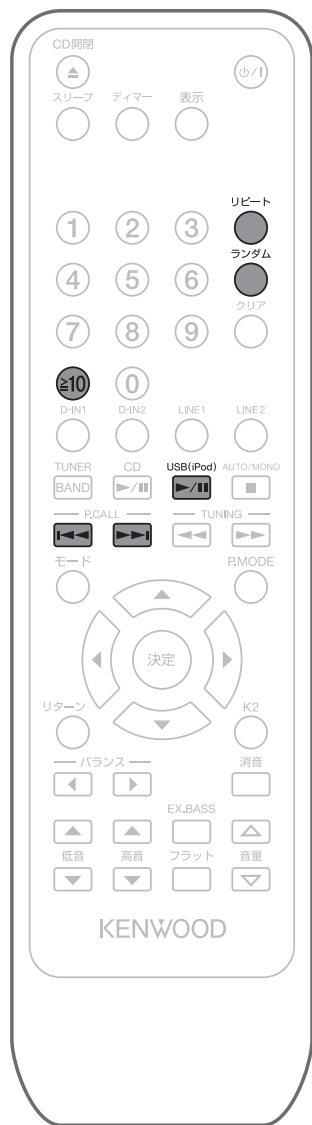


- 次の曲に移動するには、[▶▶] を押します。
- 再生している曲の最初に移動するには、[◀◀] を押します。続けて 2 回押すと、前の曲に移動します。

早戻し/早送りする

再生中または一時停止中に





ランダム再生をする

1 ランダムを設定する

停止中に

ランダム



- 「RANDOM」アイコンが点灯します。

2 再生する

USB (iPod)



- ランダム再生中に[◀◀]を押しても、前の曲に戻ることはできません。
- 停止中に[ランダム]をもう1度押すと、ランダム再生が解除され、「RANDOM」アイコンが消灯します。

お知らせ

- 以下の場合は、ランダム再生が解除されます。
 - 電源を切る
 - USB 機器を取りはずす




リピート再生をする

1 リピートの種類を選ぶ

再生中または停止中に

リピート



- 押すたびに以下のように切り換わります。
- 「」アイコン:
すべての曲をくり返します。
- 「1」アイコン:
現在の曲をくり返します。
- 「1 FOLDER」アイコン:
現在のフォルダの曲をくり返します。

2 再生する

USB (iPod)



他のフォルダを再生する

1 現在のフォルダ名を表示する



- フォルダ名が点滅します。

2 フォルダを選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(回す)

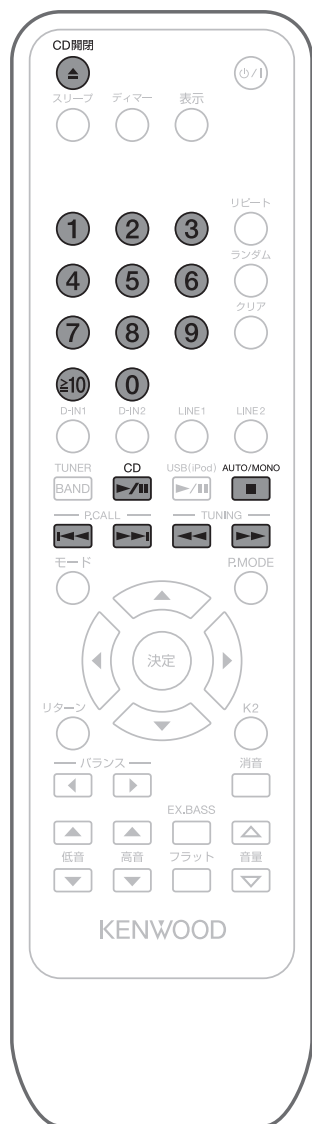
3 再生する

USB (iPod)

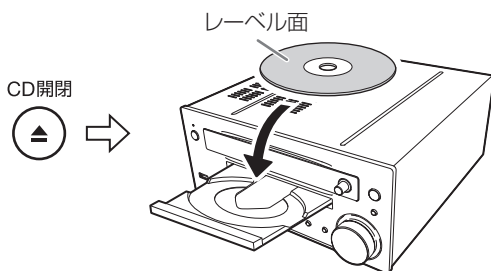


- フォルダ内の最初のファイルから再生が始まります。
- USB 機器によっては、フォルダを選べないことがあります。

CD を聞く



CDを入れる



- CD トレイを閉めるには、**[▲]**を押します。

お知らせ

- 電源が切れているとき(スタンバイ状態)に**[▲]**を押すと、電源が入り CD トレイが開きます。

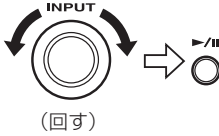
再生する

再生する

リモコン



本体



停止する

AUTO/MONO



一時停止する

CD



- もう1度押すと、一時停止を解除します。

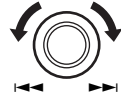
曲を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(回す)

- 次の曲に移動するには、[▶▶] を押します。
- 再生している曲の最初に移動するには、[◀◀] を押します。続けて2回押すと、前の曲に移動します。

曲番号を指定して曲を選ぶ

リモコンの数字ボタンを押して選びます。

例:

- 3 番目を選ぶとき: ③
- 17 番目を選ぶとき: ≥ 10 ① ⑦
- 20 番目を選ぶとき: ≥ 10 ② ①
- 123 番目を選ぶとき: ≥ 10 ① ② ③
(MP3/WMA ファイルのみ)

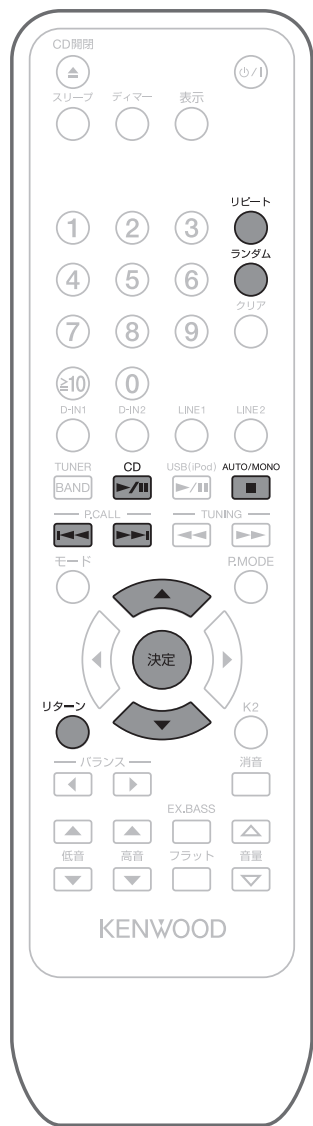
早戻し/早送りする

再生中または一時停止中に



(長押し)





ランダム再生をする

1 ランダムを設定する

停止中に



- 「RANDOM」アイコンが点灯します。

2 再生する



- ランダム再生中に[◀◀]を押しても、前の曲に戻ることはできません。
- 停止中に[ランダム]をもう1度押すと、ランダム再生が解除され、「RANDOM」アイコンが消灯します。

お知らせ

- 以下の場合、ランダム再生が解除されます。
 - 電源を切る
 - CD トレイを開ける



リピート再生をする

1 リピートの種類を選ぶ

再生中または停止中に

リピート





- 押すたびに以下のように切り換わります。
- 「」アイコン:
すべての曲をくり返します。
- 「1」アイコン:
現在の曲をくり返します。
- アイコン消灯:
リピート再生を解除します。

2 再生する



お知らせ

- プログラム再生中に「」(全曲くり返し)にすると、プログラムした全曲をリピート再生します。
- ランダム再生中に「」(全曲くり返し)にすると、ランダムな順序で全曲をリピート再生します。
- 以下の場合は、リピート再生が解除されます。
 - 電源を切る
 - 音源を変える
 - CD トレイを開ける

他のフォルダを再生する (MP3/WMA のみ)

1 フォルダおよびファイルの選択モードを表示する

停止中に

AUTO/MONO



- もう 1 度押すとフォルダ名表示を終了します。

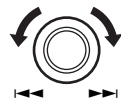
2 フォルダまたはファイルを選ぶ

リモコン





(くり返し押す)

本体



(回す)

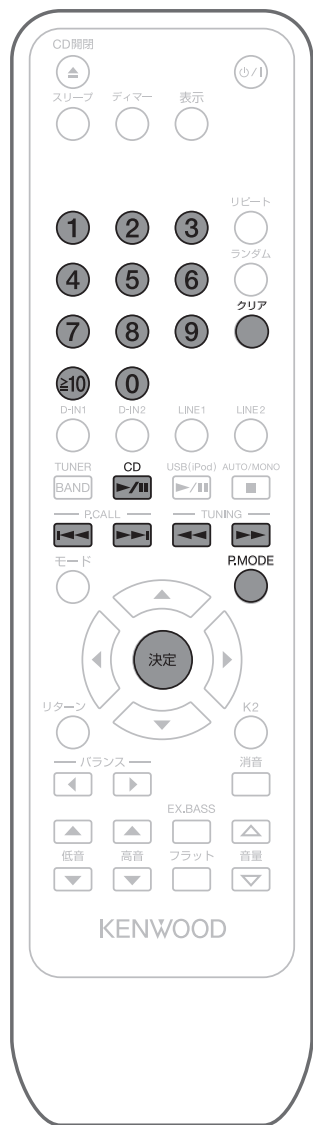
- []/[]を押してもフォルダやファイルを選択できます。
- [リターン]を押すと、前の階層に戻ります。
- [決定]を押すと、次の階層に進みます。

3 再生する



- ディスクの種類によっては、フォルダを選べないことがあります。





プログラム再生をする

CD の曲を、32 曲までお好みの順で再生します。

1 プログラムモードを表示させる 停止中に

P.MODE



2 登録したい曲を選ぶ

① 曲やフォルダ、ファイルを選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(回す)

② [決定]を押す

リモコン



本体

MODE / ENTER



- MP3/WMA ファイルの場合、数字ボタンでもフォルダやファイルを選べます。

- ファイルを選ぶ: ≥10 を 1 回押す
- フォルダを選ぶ: ≥10 を 2 回押す

3 手順2をくり返して、他の曲を登録する

4 再生する



プログラム内容を確認する

プログラム再生停止中に



- 登録した曲が順に表示されます。

プログラムに曲を追加する

プログラム再生停止中に

① 追加したい曲やファイルを選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



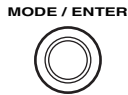
(回す)

② [決定]を押す

リモコン



本体



- プログラムの最後に曲が追加されます。

登録した曲を削除する

プログラム再生停止中に

クリア



- 押すごとにプログラムの最後の曲が削除されます。

プログラム再生を解除する

プログラム再生停止中に

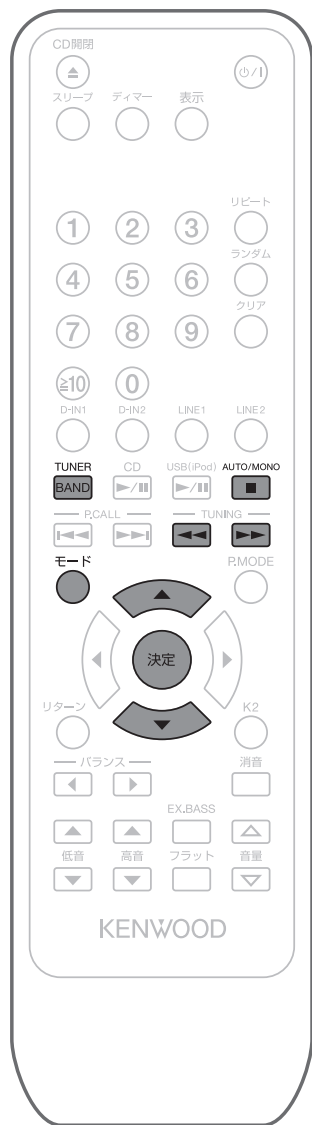
P.MODE



- 以下の場合もプログラム再生は解除されます。
 - 電源を切る
 - CD トレイを開ける



FM/AM ラジオを聞く

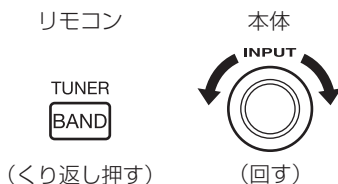


放送局を受信する

お知らせ

- ラジオを聞く前にアンテナを接続してください。(p. 9)
- 本機は AM ステレオ放送には対応していません。

1 「FM」または「AM」を選ぶ



2 選局方法(オート選局またはマニュアル選局)を選ぶ

AUTO/MONO



- 電波状態の良い場合はオート選局を選びます。
(「AUTO」アイコンが点灯します)
- 電波状態の悪い場合はマニュアル選局を選びます。
(「AUTO」アイコンが消灯します)

3 放送局を選ぶ



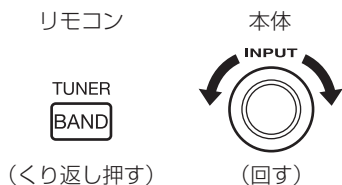
- オート選局:
押すたびに、次の放送局を自動で受信します。
- マニュアル選局:
受信したい周波数になるまでくり返し押ししてください。
押し続けると連続して周波数が変わります。

放送局を記憶させる(プリセット)

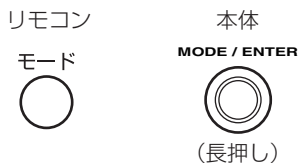
FM および AM の放送局を、あわせて最大 40 局まで記憶させることができます。

自動で記憶させる (オートプリセット、FM のみ)

1 「FM」を選ぶ



2 設定メニューを表示する

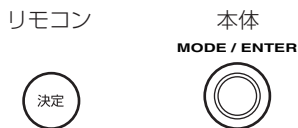


3 「Tuner Setup」→「Auto Preset」の順 に選ぶ



- 確認のメッセージが表示されます。
- プリセットを中止するには、[モード]を押してください。

4 記憶させる



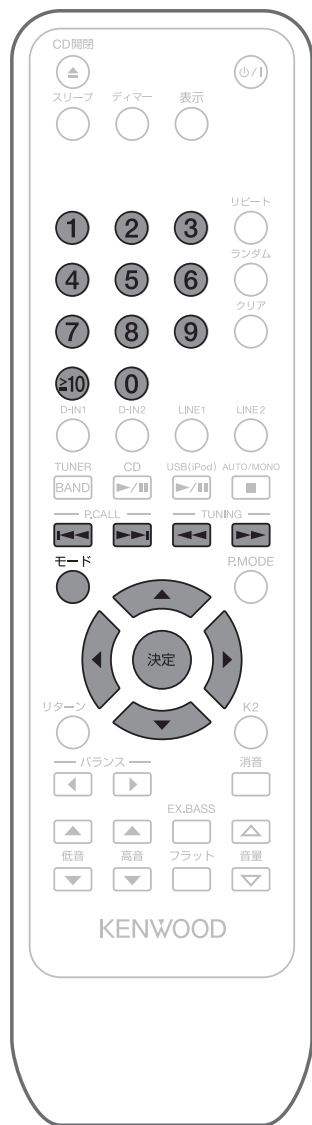
- 周波数順に最大 40 局まで記憶されます。

ご注意

- プリセット番号にすでに記憶されている放送局がある場合は、新しい放送局に変更されません。



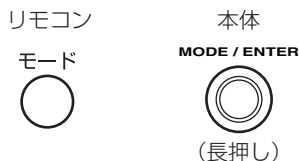
手で記憶させる(マニュアルプリセット)



1 記憶させたい放送局を受信する



2 設定メニューを表示する



3 「Tuner Setup」→「Memory」の順に選ぶ

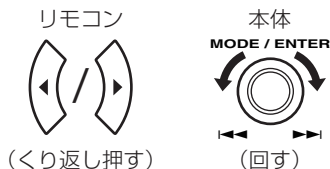


- プリセット番号が点滅します。

80.0 MHz **1** CH

- プリセットを中止するには、[モード]を押してください。
- 表示が点滅している間に、以下の手順を行なってください。

4 記憶させたいプリセット番号を選ぶ



選んだプリセット番号

80.0 MHz **3** CH

5 記憶させる

リモコン



本体

MODE / ENTER



- プリセット番号にすでに記憶されている放送局がある場合は、確認のメッセージが表示されます。
- 新しい放送局に変更する場合は[決定]を押ししてください。
- 新しい放送局に変更しない場合は[モード]を押ししてください。
- プリセットしても電波状態が悪い場合は、受信できません。

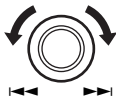
記憶した放送局を呼び出す

リモコン



(くり返し押す)

本体



(回す)

- 押し続けると連続して切り換わります。
- 数字ボタンでもプリセット番号を選べます。
 - 3番目を選ぶとき:③
 - 17番目を選ぶとき:≧10①⑦

記憶させた放送局を消去する

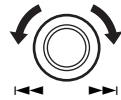
1 消したい放送局のプリセット番号を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(回す)

2 設定メニューを表示する

リモコン

モード



本体

MODE / ENTER



(長押し)

3 「Tuner Setup」→「PresetClear」の順に選ぶ



(くり返し押す)

- 確認のメッセージが表示されます。
- 消去を中止するには、[モード]を押ししてください。

4 消去する

リモコン

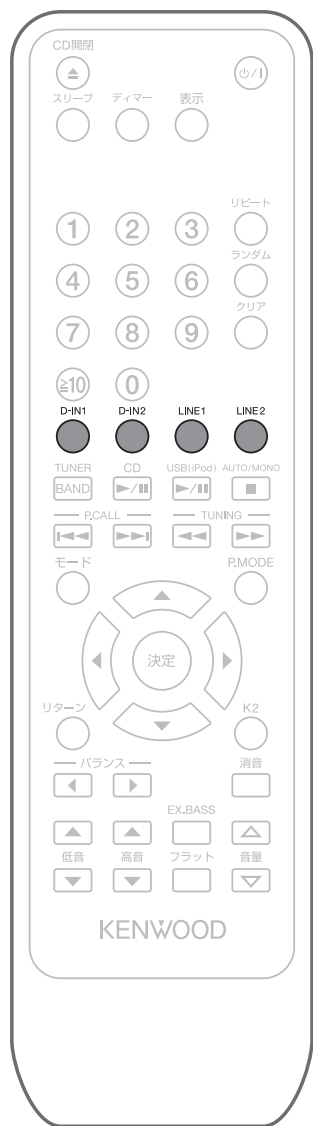


本体

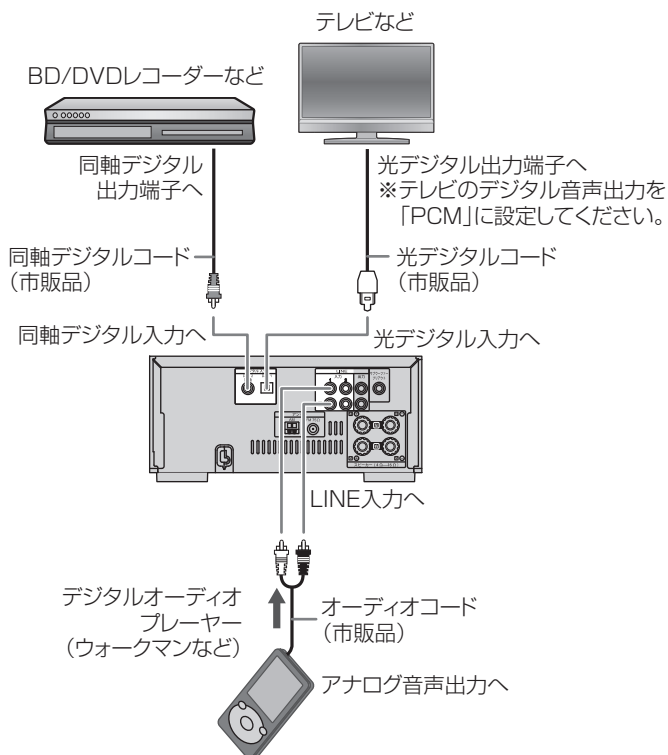
MODE / ENTER



外部機器を聞く



外部機器を接続する



- お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

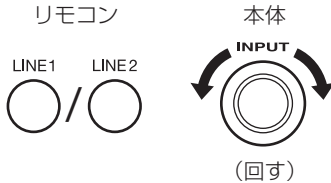
お知らせ

- ソニー製ウォークマンなど、USB 接続できない機器の場合は、LINE 入力端子にステレオミニプラグーピンプラグ接続コードなどで接続して、再生してください。

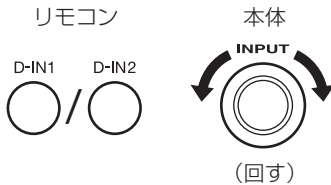
再生する

1 外部機器を接続した入力を選ぶ

LINE 入力端子に接続した機器を再生する場合



デジタル入力端子に接続した機器を再生する場合



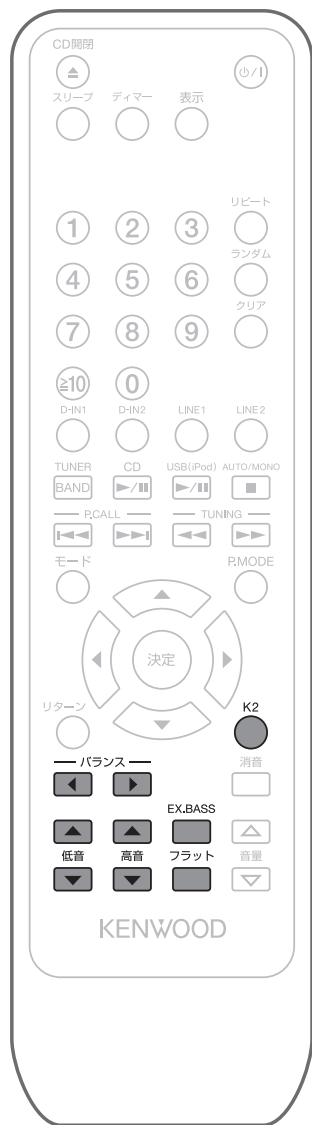
- 「D-IN」を使用するときは、外部機器のデジタル音声の出力設定を「PCM」にしてください。
「PCM」以外に設定されていると、音声は出力されません。

2 外部機器の再生を始める

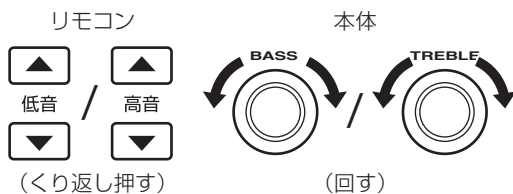
お知らせ

- 本機で再生できるデジタル信号は、PCM (32 kHz ~ 192 kHz) です。

音質を設定する



好みの音質に設定する



- それぞれ以下の範囲で調節できます。
 - 低音: Bass -8 から Bass +8
 - 高音: Treble -8 から Treble +8
- 値が2 ずつ変化します。

重低音を強める (EX.BASS)

EX.BASS



- 押すたびにオンとオフが切り換わります。

音質設定をリセットする

フラット



- 低音と高音の設定が0 に、EX.BASS の設定がオフになります。

お知らせ

- ヘッドホンからの音声にも効果があります。

再生音質を高める(K2機能)

K2機能は、録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生を可能にします。デジタル音声にハイビット化(24bit)およびハイサンプリング化(128 kHz、176.4 kHz または 192 kHz)の処理を行い、信号成分を補完します。

音源が「CD」、「USB(iPod)」、デジタル入力(「D-IN1」、「D-IN2」)のとき



- 押すたびにオンとオフが切り換わります。
- K2機能がオンのときに K2 インジケータが点灯します。

お知らせ

- 音源がラジオ、LINE 入力(「LINE1」、「LINE2」)のときは、「Analog In」と表示され、調節できません。

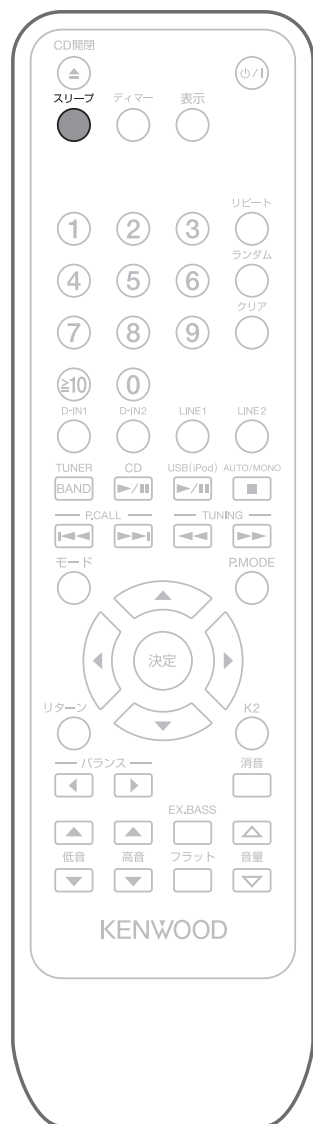
スピーカーの左右の音量バランスを調整する



- バランスは左右 7 段階の調整が可能です。



タイマーを使う



スリープタイマーを設定する

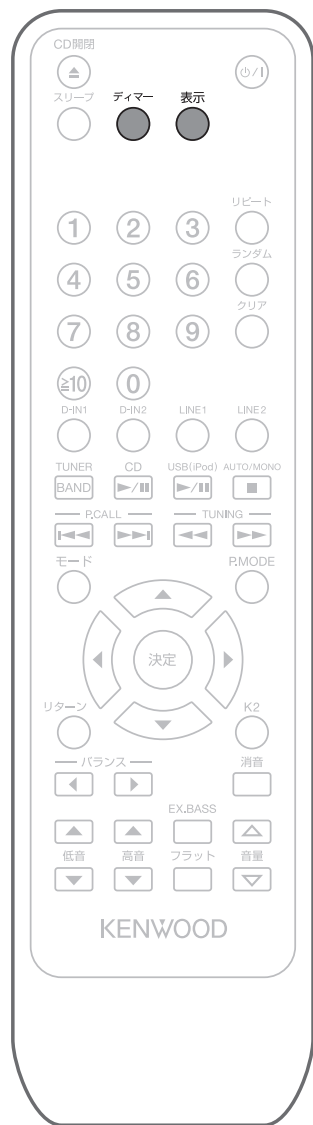
設定した時間が経過すると、本機の電源が自動的に切れます。



(くり返し押す)

- 押すたびに電源が切れるまでの時間(単位:分)が次のように切り換わります。
Off → 10 → 20 → 30 → 60 → 90 → 120 → (最初に戻る)
- スリープタイマーがオンのとき、「SLEEP」アイコンが点灯します。
- 残り時間を確認するには、「スリープ」を1回押してください。
- スリープタイマーを解除するには、電源をオフにするか、「Off」を選んでください。

その他の設定



表示される情報を変える

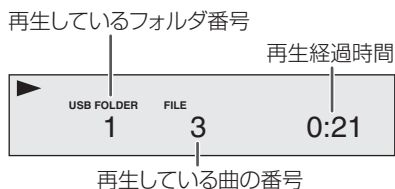
表示



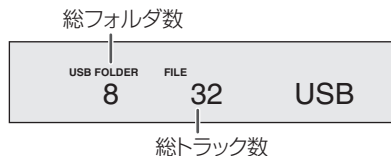
(くり返し押す)

- 押すたびに時間表示や情報に切り換わります。
- 音源によって、表示される情報は異なります。
- オーディオファイルの再生中は、表示部にタグ情報が表示されます。
- iPod では曲名、アーティスト名、アルバム名を切り換えることができます。

表示例:USB 機器再生時



表示例:USB 機器停止時



表示の明るさを変える

好みやお部屋の状態によって調節してください。

ディママー

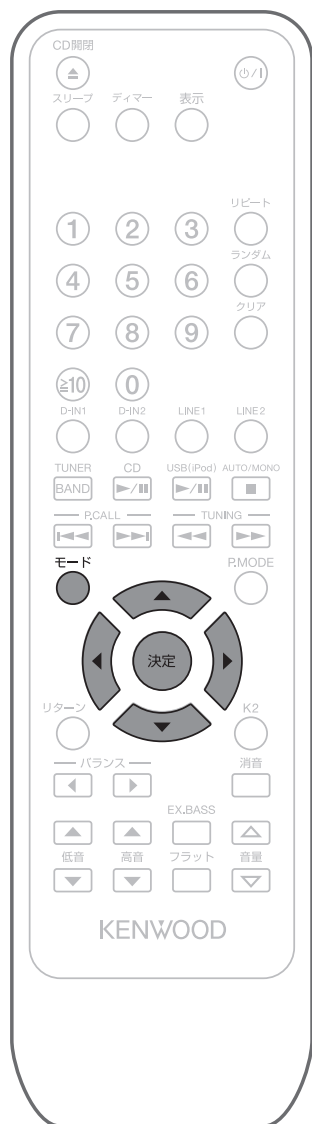


(くり返し押す)

- 押すたびに表示部の明るさが以下のように切り換わります。
通常の明るさ → 輝度が下がる → 輝度がさらに下がる → (最初に戻る)
- 電源を切っても設定は消えません。



その他の設定



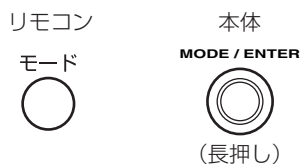
オートパワーセーブ(節電機能)を使う

無操作が約 15 分間続くと、自動で電源がオフになる機能です。

お知らせ

- お買い上げ時にはオートパワーセーブはオンになっています。オフにするときは以下の手順で「Off」を選んでください。

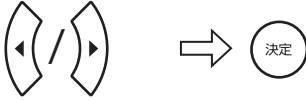
1 設定メニューを表示する



2 「A.P.S. Set」を選ぶ



3 「On」または「Off」を選ぶ



(くり返し押し)

On : 以下のような状態で約 15 分間何も操作が行われない場合、本機の電源が自動的に切れます。

- 音量が 0 のとき、または消音しているとき
- 音源が「USB」で、機器を接続していないとき
- 音源が「CD」または「USB」で、停止状態のとき
- 音源が「D-IN1」、「D-IN2」または「LINE1」、「LINE2」で、音声が入力されていないとき

Off : オートパワーセーブがオフになります。

- 本機の電源が切れる約 30 秒前に「A.P.S.」表示が点滅を始めます。
- 途中でボタン操作を行なった場合は、その時点から 15 分間カウントし直します。
- スリープタイマーの動作中もオートパワーセーブは働きます。

ご注意

- 外部機器で録音するときは、オートパワーセーブをオフにする、または本機の音量を 1 以上にして録音してください。



その他

再生できる iPod


Made for	※
iPod nano(第7世代)	1.0.1
iPod nano(第6世代)	1.2
iPod nano(第5世代)	1.0.2
iPod nano(第4世代)	1.0.4
iPod nano(第3世代)	1.1.3
iPod nano(第2世代)	1.1.3
iPod touch(第5世代)	6.1.3
iPod touch(第4世代)	6.1.3
iPod touch(第3世代)	5.1.1
iPod touch(第2世代)	4.2.1
iPod touch	3.1.3
iPod classic	2.0.4
iPhone 5	6.1.4
iPhone 4s	6.1.3
iPhone 4	6.1.3
iPhone 3GS	6.1.3
iPhone 3G	4.2.1

※ 動作確認時のソフトウェアのバージョン

- iPod が正しく再生されないときは、iPod の最新版ソフトウェアをダウンロードし、アップデートしてください。
iPod について詳しくは、Apple 社のウェブサイトをご覧ください。<<http://www.apple.com/>>

再生できる CD とファイル

- CD 規格 (CD-DA) に準拠しない CD については、動作や音質を保証できません。
CD を再生する際は、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠する CD であることを確かめください。
- CD の特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD の使用上のご注意をよくお読みください。
- CD テキストの表示には対応しておりません。

CD	下記のマークのある CD を再生することができます。 
ファイル	<ul style="list-style-type: none">• 音楽 CD フォーマットの CD-R/CD-RW• CD-R/CD-RW の MP3/WMA ファイル

CD-R/CD-RW のご注意

お客様が編集した CD-R/CD-RW は、ファイナライズ処理されている CD に限り本機でお楽しみいただけます。

- CD-R/CD-RW を作成するときは、フォーマットを「ISO 9660 Level1」にしてください。また、パケットライト方式(UDF フォーマット)は使用しないでください。
- MP3/WMA ファイルの入った CD-R/CD-RW は、通常の音楽 CD よりも読み取りに時間がかかります。(フォルダやファイルの構成により読み取り時間は異なります。)

USB 機器のご注意

- 再生できる USB 機器のファイルは、MP3/WMA/AAC ファイルです。
- USB 端子には、USB フラッシュメモリーや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー以外の機器を接続しないでください。
- USB 機器の容量は 16GB 以下を推奨します。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くなります。
- USB 機器のセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- 本機の USB 端子は、パソコンとは接続できません。
- 接続する機器によっては誤動作する場合があります。このときは、本機の電源を 1 度切ってから入れ直してください。
- USB ハブは使用しないでください。
- すべての USB 機器の動作を保証するものではありません。
- USB 機器が複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
- USB 機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。
- USB 機器によっては、本機が認識できないことがあります。
- USB 機器に再生可能なファイルがない場合は、再生は開始されません。
- 本機から USB 機器へ録音することはできません。
- 本機では、ファイルやフォルダを削除することはできません。
- 接続するときは、USB 機器の取扱説明書もご覧ください。

オーディオファイルのご注意

- 再生できるオーディオファイルは<.mp3>、<.wma>または<.m4a>(USB 機器のみの)の拡張子がついているファイルです。

- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成されたオーディオファイルを再生できます。

- ディスクに収録されている場合

サンプリング周波数: 32/44.1/48 kHz

転送レート: MP3: 32 kbps ~ 320 kbps

WMA: 32 kbps ~ 192 kbps

- USB 機器に収録されている場合

サンプリング周波数: 32/44.1/48 kHz

転送レート: MP3: 8 kbps ~ 320 kbps

WMA: 5 kbps ~ 384 kbps

AAC: 8 kbps ~ 320 kbps

- オーディオファイルは、サンプリング周波数 44.1kHz、転送レート 128kbps で作成されたディスクを推奨します。
- 本機で認識できるフォルダおよびファイル数は以下のとおりです。

CD1 枚あたり:

最大フォルダ数: 99

1 フォルダ内の最大ファイル数: 499

フォルダ階層数: 最大 8 階層

USB 機器 1 台あたり:

FAT16: ルートフォルダ内 最大 512

サブフォルダ内 最大 65534

FAT32: ルートフォルダ内 最大 65536

サブフォルダ内 最大 65534

(数字はフォルダ数とファイル数の合計です)

フォルダ階層数: 最大 8 階層

- DRM ファイルは再生できません。
- 1 曲が 2GB 以上のファイルは再生できません。
- 録音状態や記録方法によっては再生できないオーディオファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。

- オーディオファイルの再生順について (オーディオファイルを含まないフォルダは無視されます。)

- 先に作成したフォルダから順に再生します。フォルダ内では先に記録した曲から順に再生します。

- 記録のしかたによっては、順番が異なることがあります。

- フォルダ名やファイル名を変えると、順番が変わることがあります。

- フォルダ名、ファイル名の頭に「01」から「99」などの番号を付けてメディアに記録すると、再生する順番を設定することができます。

- ファイル名に半角英数字とカタカナ以外の文字が使われていると、ファイル名が正しく表示されません。

- 本機は ID3 TAG VERSION1,2(曲名、アーティスト名、アルバム名)、ファイル名、フォルダ名を表示できます(ただし半角カタカナ、半角英数字のみ)。

- 表示できる最大文字数は以下のとおりです。

CD : ファイル名/フォルダ名およびタグ表示(タイトル/アルバム名/アーティスト名): 31 文字

USB : ファイル名/フォルダ名およびタグ表示(タイトル/アルバム名/アーティスト名): 32 文字

商標

- Microsoft、Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

レーザー製品についてのご注意

1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス 1 レーザー製品です。
2. 注意: 機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。

故障かな？と思ったら

問題の多くは、当社ホームページ

<http://www2.jvckenwood.com/>

や右記の QR コードから最新の製品 Q&A 情報をご覧ください。ご自分で解決できます。

カスタマーサポートセンターにご相談になる前に下記をチェックしてください。

- PC サイトです。
- サイトの内容は予告なく変更になることがあります。



(QR コードは
(株)デンソーウェーブ
の登録商標です)

共通

症状	処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">• コンセントを正しく差し込んでください。• スピーカーコードがショート(芯線の+と-が接触)していないか、ばらけて細い線が本体の金属部分などに接触していないか確認し、正しく接続してください。
マイコンが誤動作(操作できない、表示部の誤表示など)する	<ul style="list-style-type: none">• 電源が入ったまま接続コードを抜き差ししたときや、外部からの要因によって、誤動作することがあります。以下の手順でマイコンをリセットしてください。リセットすると、設定内容などは、お買い上げ時の状態となります。 <p>マイコンリセット方法</p> <ol style="list-style-type: none">① 電源が入った状態で、本体の[■]を押しながら、本体の[⏻/⏷](電源ボタン)を押す② リセットが終了し、スタンバイモードになる
スピーカーから音が出ない	<ul style="list-style-type: none">• スピーカーや機器を正しく接続してください。• 音量を上げてください。• 消音を解除してください。• ヘッドホンをはずしてください。
スピーカーの片側から音が出ない	<ul style="list-style-type: none">• スピーカーを正しく接続してください。• 左右の音量バランスを確認してください。
デジタル入力端子(D-IN1、D-IN2)から音が出ない	<ul style="list-style-type: none">• 機器を正しく接続してください。• 接続機器のデジタル音声出力設定を「PCM」に設定しているか、確認してください。
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none">• 新しい電池に入れ換えてください。• 操作範囲内で操作してください。
不自然な音になっている。	<ul style="list-style-type: none">• スピーカーの極性(+、-)を間違えて配線すると、楽器などの位置がはっきりしない不自然な音になります。配線を確認してください。(p. 8)

iPod

症状	処置
iPod の音が出ない/充電できない	<ul style="list-style-type: none"> • iPod を正しく接続してください。 • iPod とケーブルを本機から取りはずし、もう一度接続し直してください。 • 一度本機の電源を入れなおしてください。
チャージモードをオンに設定しても、本機の電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)に iPod/iPhone を充電できない	<ul style="list-style-type: none"> • iPod nano(第2世代)、iPod touch(第1世代/第2世代/第3世代/第4世代)、iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G は本機の電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)に接続しても充電できません。本機の電源が入っているときに充電してください。
iPod を再生できない/認識できない	<ul style="list-style-type: none"> • iPod をはずした状態で、iPod をリセットし、本機の電源コードを抜き差ししてください。(iPod のリセット方法については、アップル社のウェブサイトをご覧ください)

USB 機器

症状	処置
USB フラッシュメモリーまたは USB オーディオプレーヤーを接続しても音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> • USB フラッシュメモリーを正しく差し込んでください。 • USB ケーブルを正しく接続してください。 • USB オーディオプレーヤーの電源を入れてください。 • パソコンで、USB フラッシュメモリーを FAT32 形式でフォーマットしてください。(フォーマットすると、USB フラッシュメモリーに記録されているデータはすべて消去されますので、ご注意ください) • 他の USB フラッシュメモリーに交換してみてください。
ソニー製ウォークマンを再生できない/認識できない	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の USB 端子は、ウォークマンの接続には対応していません。ウォークマンは LINE 入力端子にステレオミニプラグ/ピンプラグ接続コードなどで接続して、再生してください。

CD

症状	処置
ディスクを入れても再生できない音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> • ラベル面を上にして、正しく入れてください。 • ディスクの汚れを拭きとってください。
再生できないオーディオファイルがある	<ul style="list-style-type: none"> • オーディオファイルが壊れている場合は再生できません。 • 本機で再生できるオーディオファイルか確認してください。 • パケットライト方式や UDF (Universal Disc Format) 方式で記録されたディスクは再生できません。
再生するまでに時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> • フォルダの数が多い場合は、再生するまでに時間がかかることがあります。
タグ情報が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • 本機で表示できるタグ情報を確認してください。

故障かな？と思ったら

ラジオ

症状	処置
放送局が受信できない	<ul style="list-style-type: none">• アンテナを正しく接続してください。• 受信したい放送局の周波数に合わせてください。
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none">• 外部アンテナを道路から離して設置してください。• テレビから離して、設置してください。
プリセットコールができない	<ul style="list-style-type: none">• もう一度放送局を自動で記憶させてください。• 受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットで記憶させてください。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力	50 W + 50 W (JEITA* 4 Ω)	
周波数特性 (LINE 入力)	10 Hz ~ 100 kHz (+1 dB、-3 dB)	
全高調波ひずみ率	0.007% (1 kHz、1 W、4 Ω、LPF 20 kHz)	
トーンコントロール特性	BASS	±8 dB (at 100 Hz)
	TREBLE	±8 dB (at 10 kHz)
EX.BASS (オン)	+4 dB (55 Hz)	
入力端子 (感度 / インピーダンス)	LINE 入力	900 mV / 47 kΩ
出力端子 (レベル / インピーダンス)	サブウーファースプリアウト	2 V / 370 Ω
	LINE 出力	900 mV / 330 Ω
スピーカーインピーダンス	4 Ω - 16 Ω	

デジタル部

対応サンプリング周波数	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz、192 kHz	
入力端子 (感度 / 波長 / インピーダンス)	光 (オプティカル)	-15 dBm ~ -24 dBm、660 nm ±30 nm
	同軸 (コアキシャル)	0.5 V _{p-p} / 75 Ω

USB 部

対応 USB 機器	USB マスストレージクラスデバイス
インターフェイス	USB2.0 (Full speed) / USB1.1 互換
対応ファイルシステム	FAT 16 / FAT 32
出力	DC 5 V  1 A

主な仕様

チューナー部

FM チューナー部	受信周波数範囲	76 MHz ~ 90 MHz
	アンテナインピーダンス	75 Ω 不平衡
AM チューナー部	受信周波数範囲	531 kHz ~ 1,629 kHz

CD プレーヤー部

読み取り方式	非接触光学式読み取り(半導体レーザー)
--------	---------------------

電源部・その他

電源	AC 100 V, 50 Hz / 60 Hz
消費電力	45 W(動作時) 0.5 W 以下(スタンバイ状態)
最大外形寸法(幅 × 高さ × 奥行)	247 mm × 115 mm × 288 mm
質量	3.3 kg

本機は「JIS C61000-3-2 適合品」です。

*は JEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

<メモ>

保証とアフターサービス

1. 保証について

- 保証期間—お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは「無料修理規定」をご覧ください。

2. 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

3. 補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

5. アフターサービスについて

- 保証期間中は、「無料修理規定」に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
- 修理料金の仕組み(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- ① 技術料 : 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
 - ② 部品代 : 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
 - ③ 出張料 : 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
 - ④ 送料 : 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。
- 修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかヘッドホンなど付属品も一緒にお持ちください。

6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。

- This warranty is valid only in Japan.

無料修理規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービス窓口にて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

5. 次の場合には保証期間内でも有料になります。

- ① 保証書のご提示のない場合。
- ② 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
- ③ 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
- ④ 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
- ⑤ お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
- ⑥ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
- ⑦ 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷(例えば、業務用の長時間使用、車両く車載用製品を除く)、船舶への搭載等)
- ⑧ 製造番号の改変及び、取り外した製品。
- ⑨ 消耗部品(例えばプレーヤーの針、回転機器のベルト、テープレコーダーのヘッド、乾電池、充電機、イヤークリップ等)の交換。
- ⑩ 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。

6. 保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

- 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店またはカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

- 商品や修理(アフターサービス)に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87

携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950 FAX 045-450-2308

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

保証書

持込修理用
(日本国内専用)

品名	CD チューナーアンプ	型名	A-K805
保証対象	本体	保証期間	(お買い上げ日より) 1年間
※お買い上げ日	年 月 日		
※お客様	お名前 様		
	ご住所		
	電話番号 ()		
※販売店	店名		
	住所		
	電話番号 ()		

公開用

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

KENWOOD

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町3-12